

会長講演・招聘講演・特別企画・シンポジウム・ワークショップ・
交流セッション・学会奨励賞授賞式 受賞講演

9月11日(土):大会1日目

オーヴァルホール

9:30～12:30

シンポジウム 「看護と国際～本来業務と看護活動」

座長: 李節子(長崎県立大学大学院人間健康科学研究科教授)

丹野かほる(新潟大学大学院保健学研究科教授)

パネリスト

1. 上村朋子(日本赤十字九州国際看護大学)
日本赤十字社の災害救護活動と看護
2. 宮越幸代(長野県看護大学 国際看護学講座)
やり直しの国際看護協力のススメ
3. 山本裕子(特定非営利活動法人 シェア = 国際保健協力市民の会)
在日外国人(ニューカマー)への健康支援～HIV・結核そして健康増進のとりくみ
4. 李錦純(近大姫路大学看護学部)
日本社会で高齢化した在日外国人へ健康支援 - 在日コリアンの高齢者介護問題を中心に -
5. 佐山理絵(東邦大学医学部看護学科)
国際看護学教育で何をつたえるか

13:30～14:00

日本国際保健医療学会奨励賞 受賞講演

14:00～16:30

特別企画 「人は愛するに足り、真心は信ずるに足る」

座長: 喜多悦子(第25回学術大会長、日本赤十字九州国際看護大学長)

「アフガンとの約束」

中村哲(ペシャワール会現地代表)

「いのちの重さ」

澤地久枝(「九条の会」呼びかけ人の一人、ノンフィクション作家)

16:30～17:30

会長講演 「たどるべき長き道程(みちのり)」

喜多悦子(第25回学術大会長、日本赤十字九州国際看護大学長)

座長: 石川信克(学会理事長、財団法人 結核予防会結核研究所長)

9:30 ~ 12:30

シンポジウム 「大規模自然災害に立ち向かう人道・人倫・人知」

座長: 鷓飼卓 (特定非営利活動法人災害人道医療支援会 HuMA 理事長)

奥村順子 (長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野准教授)

パネリスト

1. 山本太郎 (長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野)
ハイチという国、そして、ある医師達の生き方
2. 富岡譲二 (2010 年チリ震災国際緊急援助隊医療チーム先遣隊副団長、医療法人財団池友会福岡和白病院副院長)
2010 年チリ震災で学んだこと
3. 加藤圭 (防衛省航空幕僚監部)
ハイチ地震における自衛隊の活動について
4. 田中潤一、喜多村泰輔、川野恭雅、入江悠平、石倉宏恭 (福岡大学病院救命救急センター)
ハイチにおける国際協力機構国際緊急援助隊 (Japan Disaster Relief) の活動 ~ 他機関との協力など ~
5. 浦上友美 (熊本赤十字病院看護部)
ハイチ地震における赤十字の医療保健活動

12:30 ~ 14:00

交流セッション 「MDGs と母子保健」

座長: 池上清子 (国連人口問題基金東京事務所長)

パネリスト

1. 長谷川真一 (国際労働機関駐日事務所代表、Director of ILO Japan Office)
 2. 平林国彦 (国連児童基金東京事務所代表、Director of UNICEF Tokyo)
 3. 牧山ひろえ (民主党 参議院議員、Member of ODA Committee, House of Coucillors; DPJ)
-

9月12日(日):大会2日目

第1会場

講義・研究棟1階 講義室101

9:30～12:30

ワークショップ 「THE 赤十字」

オーガナイザー:五十嵐清(学校法人日本赤十字学園常務理事・事務局長)

パネリスト

1. 小川里美(京都第二赤十字病院看護師長)
紛争地(イラク)における救急医療・保健スタッフの強化
2. 伊藤明子(名古屋第二赤十字病院 国際医療救援部副部長 兼 看護副部長)
紛争の激化するアフガニスタン(カンダハール)における病院支援
3. 内木美恵(葛飾赤十字産院 看護副部長・テクニカル・アドバイザー)
アフリカにおける母子保健 - ウガンダでの経験をもとに
4. 五十嵐清(学校法人日本赤十字学園 常務理事・事務局長)
国際社会の「健康危機」への取り組みと赤十字

12:30～13:30

特別企画 日本国際保健医療学会 25周年記念パネル

「私たちは何処から来たのか、そして何処を目指すのか」

座長:石川信克(学会理事長、財団法人 結核予防会結核研究所長)

喜多悦子(第25回学術大会長、日本赤十字九州国際看護大学長)

パネリスト

1. 島尾忠男(エイズ予防財団会長、元本学会理事長)
2. 西田良子(財団法人ジョイセフ事務局長補)
3. 柳澤理子(愛知県立大学看護学部地域看護学教授)
4. 村上仁(国立国際医療研究センター、国連インフルエンザ調整機関)
5. 安東久雄(国立看護大学校、日本国際保健医療学会学生部会5期代表)

9:30～12:30

ワークショップ 「国際保健医療学分野の研究手法 数値と記述のサイエンス」

オーガナイザー: 青山温子 (名古屋大学大学院医学系研究科教授)

パネリスト

1. 橋爪真弘 (長崎大学熱帯医学研究所)
地球温暖化による健康への影響予測 疫学的アプローチ
2. 近藤尚己 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)
多重レベル分析 環境にアプローチする公衆衛生活動のために
3. 松山章子 (長崎大学国際健康開発研究科)
医療人類学のアプローチ 観察と記述に基づいた質的分析
4. 村上仁 (国立国際医療研究センター)
途上国での世帯抽出調査 サンプルデザインを勘案した代表値の推定・検定
5. 樋口倫代 (名古屋大学大学院医学系研究科)
現場からの発信手段としての混合研究法 量的アプローチと質的アプローチの併用